

令和3年度 大阪市立八阪中学校 教育の方向性

教育目標；人権尊重の精神を基盤とし知・徳・体の調和のとれた教育を

実践し ①希望を持ち、たくましく生きる

②自主的に学び、自律的に行動する

③感謝の心を大切に、自他を尊重する

生徒を育成する

重点目標；「豊かな心」「確かな学力」「健やかな身体」の育成

校 訓；希望・学び・感謝

1 子供が安心して成長できる安全な社会（学校・家庭・地域）の実現

自分の可能性を追求できるように、生き生きと学習に取り組み、学びを深め、友達と交流し、心身ともに健全に成長できる教育環境を構築する。社会のルールを理解し、他者を尊重し思いやる心、適切な人間関係を図るコミュニケーション能力、多様性を取り入れる力や道徳性を身に着けさせる。生徒・教職員・保護者のつながりを強化し、「信頼される学校」を構築する。

- ① 全教職員が情報を共有し、連携を密にし、組織的な体制で指導する。
- ② 全教職員の協力により、生徒・保護者・地域から「信頼される学校」を構築する。
- ③ 将来にわたっての基本となるルールの大切さをきめ細かに指導する。
- ④ 部活動については、活動方針に則り、お互いに励ましあい・高め合う集団を育成する。
- ⑤ 不登校生徒の状況を的確に把握し、より丁寧な取り組みと組織的な体制で指導する。
- ⑥ 学校行事等を有効に活用し、自己有用感や達成感、充実感を味あわせ、生きる力の育成を図る。
- ⑦ 学校図書館を活用するために、図書館補助員と連携し、読書活動の充実を図る。
- ⑧ P T Aや地域と連携し、教職員や生徒が地域行事に参加するように促し、地域社会の一員であるという自覚を持たせる。
- ⑨ 地域と連携した、防災、減災、安全教育を推進する。
- ⑩ 学校ホームページの充実を図り、学校行事・部活動等の様々な学校の様子を発信する。

2 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

将来、社会で生きていくために必要となる基礎的な知識や学力・体力の習得を徹底することをめざす。基礎学力や論理的思考能力を習得させ、様々な情報をもとに自分の力で考え、自分で判断し、自分の責任のもとに国際社会で力強く生きていくことができる人間を育む。

中学校3年間を見通した、指導計画を作成し、系統的に進めていく。

- ①「主体的・対話的で深い学び」に関して、学校として取り組んでいく。教員研修を行い、授業方法の改善を図る。
- ②ICT機器を活用し、生徒が意欲的・主体的に取り組める授業、「50分間集中した授業」を展開する。
- ③学習教材データ配信等を有効に活用し、計画的な家庭学習を促し、自主学習習慣の定着を図る。
- ④習熟度別少人数授業や個に応じた少人数授業を計画的に展開し、基礎基本の徹底を図る。
- ⑤生涯にわたり、健康を保持増進することができるように、基礎体力を向上させる。
- ⑥スポーツに親しむ機会の確保に向け、区役所等と連携した取り組みを推進する。
- ⑦地域の協力を得て、職業講話、職場体験学習を実施し、キャリア教育を推進する。